

かわいい子には旅をさせよ展 報告書

Dream Plan

令和5年度 ドリームプラン

グループ展 「かわいい子には旅をさせよ展」の開催

東京家政大学

家政学部造形表現学科3年

O.M、O.W、I.H

《応募のきっかけ》

私たち3人は以前から大学生活の中で一度展覧会を開き、自分の作品を多くの人に見てもらいたいという夢がありました。しかし、技術、知識、経験など足りないものが多く、なにより自分の作品に自信が持てませんでした。しかし、美術が好きで造形表現学科に入り、これまで数多くの作品を創っていく中で沢山のことを学び、感じてきました。そこには必ず仲間が存在があり、作品製作に力を捧げるとともに、3年の時を経てお互い高め合うことのできる仲間がいました。徐々に自信がつき始めた頃、所属するサークルの先輩がドリームプランを活用してグループ展を開催することを知りました。実際に足を運んだことをきっかけに、学生でありながらこんなに立派な展覧会が出来るのかと衝撃を受け、改めて展覧会を開催したいという思いが強くなりました。一人ひとりが、このメンバーだったら最高の展覧会を創り上げることができるという強い確信を持ち、だからこそ3人でこの夢を実現させ、製作者の憧れである展覧会をドリームプランというチャンスを使って叶えたかったため、応募しました。

《企画内容》

・造形表現学科3年3人による各品展示/グループ展

・目的

展示会名でもある「かわいい子には旅をさせよ」ということわざに因み、今まで人の目に触れることのなかった作品を一度世に出し、世間の反応を経験し、成長することを目的としました。また、かわいらしい空間の中で来場者が内に秘めている本当の自分やありたい姿を考えるきっかけを与えることのできる旅にしたいという思いも込められています。

・本展示会目標

- (1) 目標来場者150人
- (2) 知り合い以外にも観に来てもらう
- (3) 女性問題について考えるきっかけを作る
- (4) 自分らしく生きるきっかけを作る
- (5) 創り上げることの素晴らしさや一歩を踏み出す糧や活力を与えたい
- (6) 造形表現学科に興味を持ってもらう

・展示会情報

展示タイトル：かわいい子には旅をさせよ展

会期：令和5年11月23日（木）～11月26日（日）

展示会場：デザインフェスタギャラリー原宿EAST303

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-20-2

・展示会名由来

「かわいい子には旅をさせよ展」

ことわざに因み、“今まで人の目に触れることのなかった作品を一度世に出し、世間の反応を経験し、成長する”という意味が込められています。

・展示作品について

① 個人作品：グラフィック/染色/絵画/織物/ファッション/コラージュ

② 共同作品：アートキャンプ作品

《企画準備》

(1) ロゴ制作



(2) DM・ポスター制作



▲校内展示用ポスター

より多くの方々に来場してもらうために、DMとポスター制作に力を入れました。

ポスターは主に造形表現学科の学生の目に入りやすい7号館に貼りました。



▲DMデザイン 3種類

DMは1人1枚デザインを考え3種類制作しました。宣伝するために配布したり、当日来場してくれた方にステッカーと一緒に配布したりしました。

サイズ：210×297mm

(3) ステッカー制作



当日来場者に配るためのステッカーを1人1枚、計3種類デザインしたものを用意。

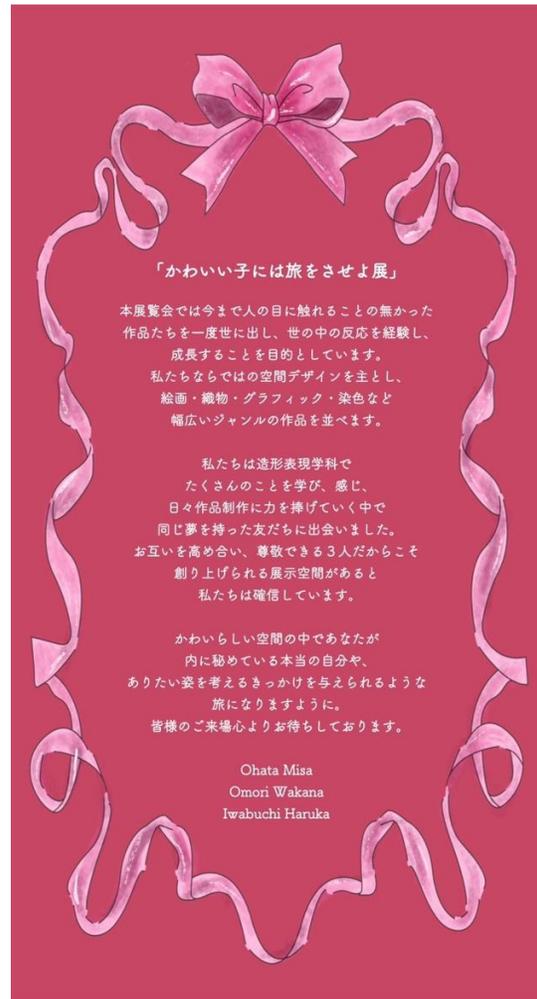
展示会の雰囲気やイメージに合わせた色味でそれぞれデザインしました。

サイズ：50×50mm

(4) インスタグラム宣伝用画像



▲インスタグラム宣伝用1枚目
目



▲インスタグラム宣伝用2枚目

SNSはメンバー各自のインスタグラムのみ使用しましたが、1番宣伝力がありました。誰でも閲覧することができ、ストーリー機能を使用することで気軽に素早く最新の情報を届けることができました。

《展示会の様子》

・搬入・準備

搬入は各自何往復かして会場まで作品を運び、全て自分たちで行いました。大まかな配置を考え、個人ブースに関しては各自で世界観を広げていきました。最後の最後までレイアウトに悩み、会場準備には4時間ほど時間がかかりました。コンセプトは私たちらしい“かわいい”をテーマに作品展示していくと共に空間構成をしていきました。



・当日の様子

長いようで短かった4日間、ありがたいことに100人以上のお客さんが展示会を見に足を運んでくださいました。目標の150人に達することはできませんでしたが、沢山の温かい言葉やアドバイスを頂くことができ、何より無事に展示会を開催できたことに感謝の気持ちと達成感を感じています。一から企画を考えて実行するまでには長い時間がかかり、悩み時にぶつかることもありましたが、作品を通じて私たち自身、とても成長することができました。



知人以外にも年齢も国籍も様々な方にお越し頂きました。



当日見に来てくれたお客さんにはハート型の付箋に感想を書いてもらいそれを壁に貼ってもらいました。1日目から徐々にハートが増えていく過程がとても嬉しかったです。

《各メンバーの制作物、感想、今後の活動について》

M. O

展示作品ジャンル：グラフィック/絵画/染色/ファッション



【全体の感想】

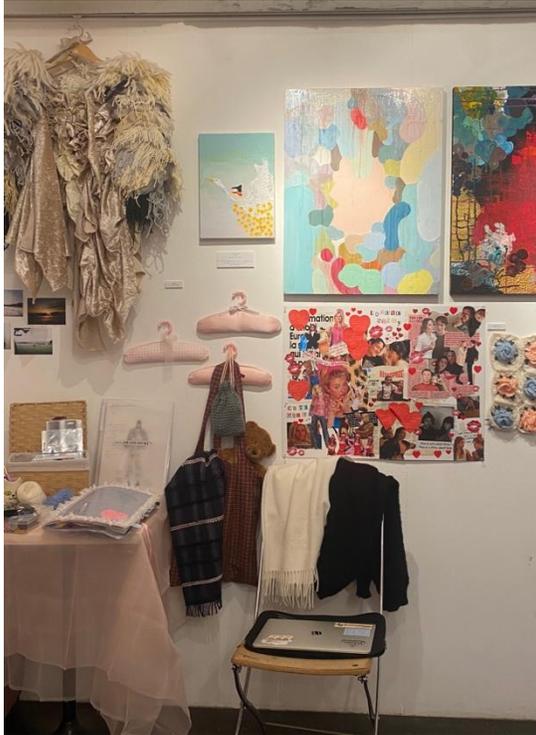
展覧会を開催することは私の高校生の頃からの夢だったため、率直に夢を叶えられてとても嬉しかったです。しかし、展覧会を行ったことで反省点も多くありました。一番は配置の仕方です。事前に展示する作品の配置を決めきれていなかったことが大きな原因だったと思います。7号館の展示スペースを借りるなど、練習しておけば良かったと感じました。また、反省点と同じくらい、得られたことも多くありました。展覧会開催までの行動計画や事前準備の大切さや、鑑賞者の興味を惹く作品はどれなのかなどとても勉強になりました。勇気を出して行動に移したことで、仲間と作り上げていく楽しさや達成感の素晴らしさを学ぶことができ、自分の自信にも繋がりました。

【今後の活動について】

展覧会を開催するのは今回が初めてだったため開催後に学ぶことを多く、もっとこうすれば良かったなという反省点が出てきました。そのため、もっと自分の作品数を増やし、反省点を活かした展覧会を再度開いてみたいです。また、様々な人の作品に積極的に触れ、自分自身成長していきたいです。

H. I

展示作品ジャンル：絵画/ファッション/コラージュ/織物/住環境デザイン



【全体の感想】

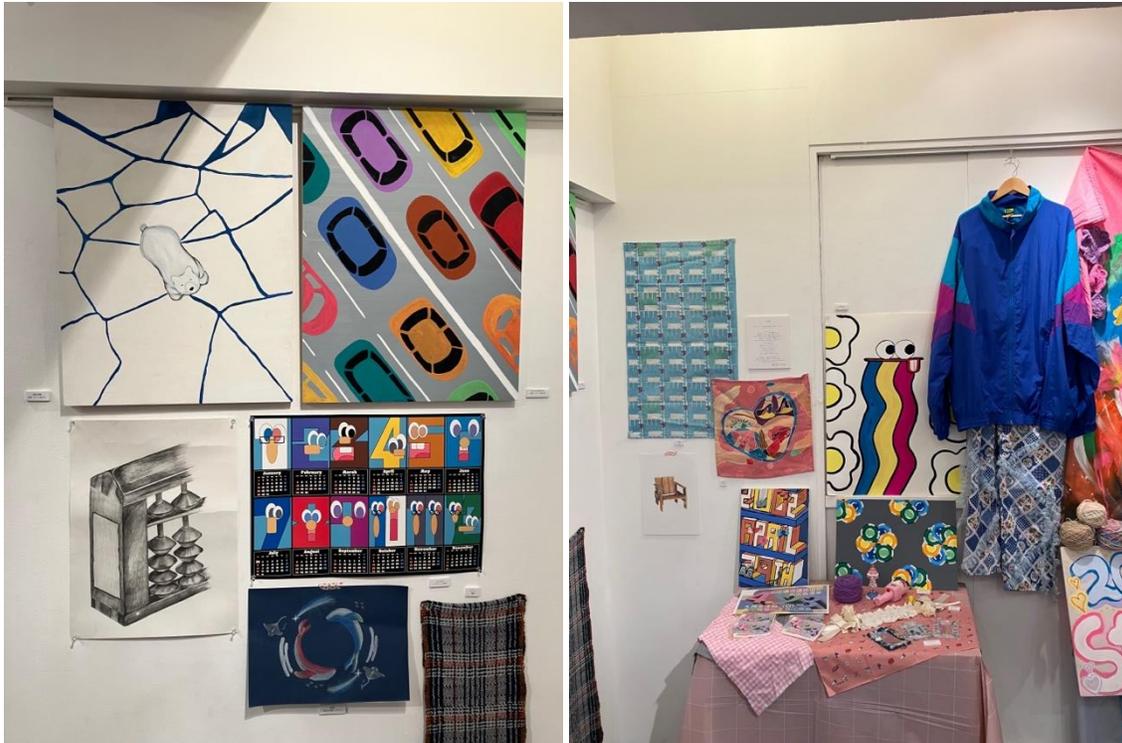
人生で初めての展示会、とても緊張したし本当に自分の作品なんかを人に見せることができるのか初めは不安で仕方なかったですが、4日間大きなハプニングもなく無事に開催することができとても大きな達成感を感じています。私はドリームプランの存在をM.OさんとW.Oさんに教えてもらいこのグループ展の一員になりました。この大学生活で何か行動を起こしてみたい、展示会を開いてみたいと言う私の心の隅っこにあった夢をこのような形で叶えることができました。決して1人の力ではできなかつたし、この3人だったからこそその空間、展示会を開くことができました。チームで活動することの楽しさや嬉しさ、そして大変さを感じることでできた貴重な体験でした。

【今後の活動について】

この経験を通して何かに挑戦することの楽しさを知ることができました。今までは探りながら勇気が出ないことが多かったですが、やりたいと思ったことにもっと積極的になることが大切だと思います。例え失敗しても、何一つ無駄なことなんかはなくて、挑戦するという行動が自分を強くし自信に繋がっていくものなのだと感じることができました。沢山の刺激をもらったので今後はもっと自分の作品を磨き、また何かの形でこのような展示会を開いてみたいと思いました。

W.O

展示作品ジャンル：絵画/グラフィック/染色/織物/ファッション



【全体の感想】

私は去年、サークルの先輩がグループ展をしていて、それを鑑賞しに行った際に、ドリームプラン、グループ展という展示方法を知りました。造形表現学科に在学して、たくさんの作品を授業などで制作し、インプットはたくさんしたけど、アウトプット先が何ひとつなく、展覧会をしてみたいと心の底から思いました。グループ展をすとなったらM.OさんとH.Iさんの2人が思い浮かび、3人で行う事ができました。私は特に上手くできた作品を厳選して展示したので、二人よりも展示作品数が少なかったのが反省点です。しかし厳選した作品を見てみると私の作品は、グラフィック的で、色もトーンに統一感があり、自分の好きなこと、得意なことを改めて知る事ができました。特にカレンダーとティッシュが好評で、グラフィックが一番得意だと思っていたので、一致して良かったと思いました。

【今後の活動について】

今回、グループ展を行なって、普段できないことを経験しました。またグループ展というものは、造形表現学科の中でも貴重な経験をしたと思いました。今後はこの経験を活かし、いろんなことに恐れずチャレンジしたいと思うし、自己表現をすることを恐れずできると思います。また制作活動も力を入れて、もっと自分が大事だと思える作品を作り、卒業展覧会で、この経験を活かしたいと思いました。